

いぐだたみ

県立長崎図書館だより

No.176

2015年7月

長崎ゆかりの文学展

県立長崎図書館では、本県にゆかりのある作家や文学作品を中心に、「長崎ゆかりの文学展」として、年間4回の企画展と常設展を開催しています。毎年夏の企画展では、「原爆文学」をテーマに、長崎ゆかりの文学を紹介しています。

第2回企画展「原爆文学展」開催中

7月7日(火)から8月30日(日)まで、4階郷土資料展示室にて「原爆文学展」を開催中です。

今年は長崎に原爆が投下されてから70年の節目を迎えます。原爆投下から今日に至るまで、長崎ゆかりの文学者や被爆者の言葉の力によって「長崎の原爆文学」が生まれ出されてきました。



今回の企画展では、林京子、福田須磨子、山田かん、竹山広、松尾あつゆき、永井隆、秋月辰一郎の著作と関連資料を展示し、平和への願いや祈りのあゆみをたどります。

なお、松尾あつゆきの色紙「わが傷はわが舐めるほかなしけものごとく」は、本館初公開です。

この機会にぜひご来館ください。



2階ロビー展

こざきかん

「松尾あつゆきと小崎侃展」開催中

7月7日(火)から8月30日(日)まで、2階ロビーでは、「松尾あつゆきと小崎侃展」を開催しています。版画家・小崎侃による、俳人・松尾あつゆきの俳句をモチーフとした版画を中心に、展示を行っています。校庭で妻の火葬を行った日——8月15日、あつゆきは日本降伏の玉音放送を聞きました。妻と3人の子どもを原爆で失った彼は、その慟哭を、孤独を、俳句にぶつけていきます。生き残った長女・みち子を慈しみ、俳句を作る以外に、もはや生きる意味を見出せなくなっていました。小崎侃は版画で、その孤独と、日本人の心の中にある祈りの姿を、手を合わせている地蔵に託して表現しています。長崎ゆかりの文学展と併せてぜひご観覧ください。



もくじ

- | | | | |
|-------------------|-----------|---------------------|---------------|
| ◎ 長崎ゆかりの文学展第2回企画展 | P 1 | ◎ 実習生の声 | P 3、P 4 |
| ◎ 2階ロビー展 | P 1 | ◎ 県内図書館散歩 | P 4 |
| ◎ 長崎ゆかりの文学展第1回企画展 | P 2 | ◎ 文部科学省表彰団体の紹介 | P 5 |
| ◎ 第34回県立長崎図書館講座 | P 2 | ◎ 障害者ふれあいブックメールサービス | P 6 |
| ◎ 文化講演会 | P 2 | ◎ 催し物のご案内 | P 6 |
| ◎ 館長就任あいさつ | P 3 | | |

長崎ゆかりの文学展

好評のうちに終了

第1回企画展「長崎ゆかりの絵本作家展」

今年度第1回企画展として、4階郷土資料展示室にて、4月21日(火)から6月21日(日)にかけて、「長崎ゆかりの絵本作家展」を開催しました。今回の企画展では、長崎にゆかりの深い絵本作家である黒崎義介、清水崑、太田大八、長谷川集平、西平あかね、本間ちひろの



絵本や原画、色紙等の関連資料を展示し、長崎との関わりやその作品世界の持つ魅力を紹介しました。

来場された方々は長崎とのつながりを感じさせる絵本や原画を楽しそうに眺めておられました。



第34回 県立長崎図書館講座

講演「涙のインクから、やさしさのカタチへ ~絵本づくりから教わってきたこと~」を開催しました。

「長崎ゆかりの文学展 第1回企画展『長崎ゆかりの絵本作家展』」に連動した文学講座を5月23日(土)に開催しました。長崎県に関わりの深い絵本作家の本間ちひろ氏を講師としてお迎えし、約2時間、絵本づくりを通して得たもの、学んだものについてお話いただきました。

本間氏は神奈川県のご出身ですが、小学4年時から高校卒業まで諫早の地で過ごされました。高校時代に絵本の原画に接したことで、絵本の世界に興味を抱き、絵本作家を志すようになられたそうです。



また、東日本大震災後に、絵本関係の仕事で福島に行かれた貴重な体験を語られました。取材を通じて地元の人々と協力しながら絆を深めていく様子を、しばしば目を潤ませながら語っておられたのが印象的でした。本間氏が積極的に社会と関わりながら絵本を作っていく過程がよくわかり、絵本の世界の奥深さを実感できました。講演後のアンケート調査でも、ほとんどの人が「満足した」と回答され、大変有意義な講演となりました。



講師の本間ちひろ氏

平成27年度長崎県読書グループ連絡協議会文化講演会 (共催事業)

6月18日(木)に光源寺前住職であられる楠達也氏を講師にお迎えし、「教会と寺と神社の 音和して」と題する文化講演会を開催しました。

長崎には、いろいろな宗教の方が一緒に活動をしている「長崎県宗教者懇話会」という団体があり、演題の「教会と寺と神社の 音和して」とはこの宗教者懇話会のテーマソング「長崎の祈り」の一節とのこと。毎年8月8日の夜、原爆落下中心地に宗教の枠を超えて集まる宗教者や一般参加者の皆さんが、平和のための祈りを捧げるという「原爆殉難者慰霊祭」をもう40年以上も続けていらっしやいます。

どんな宗教であっても平和を望む思いは同じ。原爆投下から70年、終戦から70年という大きな節目の今年、あらゆる宗教がひとつに和して、平和へ向けて歩みを進める。これがこれからの宗教の姿になって欲しいとのことでした。

会場は終始笑いが絶えず、参加者は楽しみながら理解を深めることができました。



世代を越えた本との出会と活用

この4月から館長を務めております堀輝広と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
私の本との本格的な出会いは、大学時代のあることがきっかけで、時代小説（歴史小説）を読み出したことでした。それまではほとんど読書をするとはなかったというくらい読書とは疎遠であったと思います。今にして思えば、「言葉を学び表現力を高め、豊かな感性と情操を身に着けていく」という読書にもっと親しんでおけばよかったと反省もしているところです。



館長 堀 輝広

だからこそ、子どもたちには、もっと本に触れ、活字を読む習慣をつけてもらい、心を豊かにして欲しいと願っています。大人の皆様にもそうした読書の習慣を継続してもらい、豊かな人生を歩む一助にさせていただきたいし、仕事や健康、子育てなどの様々な課題を解決する糸口を見つける方法として「本（資料）」を活用していただければと思っていますところ。

私も本館に着任して以来、閲覧室書架の本の整理をしながら本の題を1冊ずつ見ていく中で「こんな本があったのか」「この本、読みたいな」と驚きと発見、そして読書意欲をかきたてられ、そうした折に見つけた本を、県民の1人として本館から借りて読んでいるところです。今、すぐ手が届くところにたくさん本がある幸せを感じています。

本館では、県民の皆様のニーズに応じた資料や未来に残しておくべき様々な資料の収集に努め、レファレンスやリクエスト本の提供、市町立図書館等への協力貸出などの図書館サービスや年間4回の「長崎ゆかりの文学展」、年間3回の講座、こども室での「おはなし会（読み聞かせ）」など読書活動の啓発にも努めているところです。さらに、長崎県公共図書館等協議会や大学図書館協議会とも連携し、利用者の皆様に質の高いサービスをご提供できるように県内図書館職員の実務に役立つ研修会を実施しております。

そうした取組みを通して、本県社会教育施設としての図書館の役割を果たすとともに、各市町立図書館等及び大学図書館との連携を一層深め、そのネットワークを十分に活用しながら、県民の皆様が図書館を利用する上で利便性が向上するよう努めなければならないと思っています。

今後も、多くの皆様が本館をご利用いただきますようお願いいたしますとともに、各地域の図書館も頻繁にご利用され、県民の皆様それぞれの「すばらしい本」に出会われることを祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

実習生の声をご紹介します。

～ 県立長崎図書館でのインターンシップを終えて ～

● 県立長崎鶴洋高等学校 松本 拓真 さん

今回は3日間実習でお世話になりました。その中でも特に印象に残っているのは、長崎県立図書館の所有している本の冊数です。中には明治や大正時代の新聞や書物などがあり、とても驚きました。それからもう一つ驚いたことは、図書館の仕事が想像と違い、ハードだったことです。今までは本の貸出と返却の手続きだけというイメージがありましたが、このインターンシップを通じて図書館の仕事の奥深さが分かりました。



● 県立長崎鶴洋高等学校 田平 大翔 さん

今回の県立長崎図書館での実習は3日間という短い期間でしたが、多くの事を学ぶことができました。実習に行く前までは、図書館の仕事は本の貸出と整理ぐらいで簡単だなと思っていましたが、思っていたよりもきつく、またとてもやりがいのある仕事でした。この実習ですごいと思ったことは、どんなに傷ついている本でも修復して読めるようにする、本を捨てない、という所です。とても素晴らしい事だと心から思いました。今回の実習を最後まできちんとできたのは、分からない事を丁寧に教えてくれたスタッフの方々のおかげです。貴重な体験ができました。本当にありがとうございました。



シリーズ 県内図書館散歩 16

時津町立時津図書館

「住みたい町、行きたい図書館」

時津図書館は、昭和53年4月に開館し、本年度で創立37年目を迎えます。時津町浦郷の閑静な住宅街の一角に位置し、周囲には時津町役場、時津町公民館、時津小学校、カナリーホールなどの多くの公的施設があります。時津図書館は、日々の図書貸出業務と並行して多彩な事業を実施し、町民老若男女の読書意欲を高めるための支援をするために、受け身ではなく、「行動する図書館」として運営を続けています。



年間で催している事業の中から少し紹介します。

- 乳幼児及びその保護者を対象とした「おはなし会」
- 幼児や小学校低学年の児童を対象とした「春・夏・秋の図書館ミニまつり」
- さまざまな領域で活躍中の専門家を読んでの「講演会」
- 実りの秋に行う「オータムコンサート」「児童生徒読書感想発表会」「講演会」

このような事業を通して、人と人が結びつき、人の輪が広がっていく、そのような図書館にしていきたいと、職員一同励んでいます。



● 長崎市立図書館

長崎市立図書館は、「自ら考え、自ら解決する」活力ある市民社会づくりに貢献することを目指しています。児童サービスでは、さまざまな方法を用いて、子どもと本を結びつけ、子どもに読書の楽しみを伝えることや調べる力を身につけるための取り組みを行っています。子どもの時から、本を読むことや資料を使って調べることの楽しさを知ること、成長してからも図書館を生涯学習の場として、活用することを身につけることを期待しています。おはなし会については、発達段階に応じて職員が毎月7回程度実施しており、英語・韓国語・中国語を母国語とするボランティアによる「いろいろな国のことばのおはなし会」、子ども読書活動推進団体による「こどもの読書週間おはなし会」、図書館ボランティアによる「出張おはなし会」なども行っています。季節に応じた館内の特集展示や壁面装飾、子ども向け映画の上映のほか、こども司書講座、調べ学習たいけん教室、図書館裏側ツアーなどを実施し、子どもたちが関心を持つきっかけ作りをしています。ブックスタートは、司書が4か月児健診会場に出向き読書相談を受けるとともに、会場で絵本の引換券を渡し、市内の2図書館と5ヶ所の公民館等図書室を絵本への引換場所にするので、これらの施設で行われている、おはなし会や各種催しに参加してもらうなど、継続的な利用に繋がっています。今後とも、素晴らしい本との出会いの場所となるよう、居心地のよい図書館を目指して職員一同、努力してまいります。



● ボランティアサークル読み聞かせの会「おはなしのへや ぐりとぐら」



一冊の絵本が持つ力を借りて、豊かな心を育み、生きていく上で心の支えとなればとの思いを胸に、平成11年に手探りで始めた活動も、現在では14名のグループになりました。

選書では絵本、昔話、民話、科学読みもの多岐にわたるお話のコーディネートも大切にしてきました。布絵本や紙芝居、パネルシアターの製作も子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、みんなで力を合わせて取り組んでいます。主な活動は、雲仙市国見町の保育園や小学校へ出向き、朝と昼休みのよみかたりを行っています。又、雲仙市図書館では、毎月のおはなし会のほか、季節をテーマに年4回「おはなしのへや」を開催しています。中でも秋の夜ばなしは、昼間の喧騒を忘れ、ゆったり家族ともたれ合い体温さえも分かち合いながら、お話の世界に浸れる時間です。なじみのない楽器に触れたり、生演奏を体感してほしいライアー（竖琴）やファゴットの奏者を招いています。又、地域の方の落語やALTによる母国語での語りなど、言葉と声とリズムの楽しさを共有してきました。

今後の目標として、新設された病後児保育施設へ赴き、子どもを優しいお話で包んであげたいと計画しています。そして次なる種を芽吹かせる為に、子どもたちにも語ってもらい、喜びを分かち合いながら活動を繋いでいきたいと願っています。

この度、文部科学大臣賞を受賞し、驚きと喜びを頂きました。皆様の支えを頂きながら歩んできた歳月を認めて頂いた事を嬉しく感謝いたします。これからも、子どもたちの輪の中・心の中に加^かたって本の楽しさを届けていけるよう努力して参ります。



県立長崎図書館 「障害者ふれあいブックメニルサービス」



サービスの概要

身体的障害等のため図書館の利用が困難な方に、郵送による図書館資料の貸出を行います。

対象者

県内在住の身体障害者手帳をお持ちの方で、その程度が下記の方。

区 分	身体障害者手帳
両下肢、体幹、移動機能の障害、視覚障害	1級もしくは2級
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害	1級から3級



利用について

貸出期間は22日間以内、50冊まで借りることができます。
送料は県立長崎図書館が往復負担します。

お申込み

登録申込書に必要事項を記入し身体障害者手帳の写しを同封の上、
県立長崎図書館までご郵送下さい。
登録申込書は、県立長崎図書館に設置しているほか、ホームページ
でもダウンロードできます。



詳しい問い合わせ及び申込み先

長崎県立長崎図書館 奉仕課 〒850-0007 長崎市立山1丁目1-51 TEL095-826-5257



催し物のご案内

平成27年度「長崎ゆかりの文学展」

(第3回企画展)

「没後35年 野呂邦暢展」

期間：平成27年9月15日～12月20日

時間：9:30～17:00 (ただし休館日を除く)

場所：県立長崎図書館4階郷土資料展示室

第36回 (平成27年度第3回)

県立長崎図書館講座

「故郷・長崎 謙早で発光し続けた作家 野呂邦暢」

講師：岡崎 武志 氏 (ライター・書評家)

日時：平成27年11月8日 (日) 13:30～15:30

場所：県立長崎図書館 2階 講堂